

# 令和二年 阿蘇神社年中行事表

阿蘇神社では、稲作の祭りが年間を通じて行われています。その年の豊作を祈願する3月の春祭り(卯の祭・田作祭)に始まり、阿蘇大神が青田をご視察になられ生育が順調であることを願う7月の御田祭、無事耕作が完了したこと、秋の実りを感謝する9月の田実祭、この間悪しき風を鎮める風祭等があり、一貫したものです。これは、昭和57年に国重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕行事」として指定を受けています。

- 1月 歳旦祭  
撰末社連拜式年の始まりはまず初詣を
- 1月13日 成人祭
- 2月 月次祭  
夕刻 善様に恵神疫神を招き降ろし願める  
神社では珍しい護摩木を敷く
- 2月1日 節分祭
- 2月3日 節分祭  
夕刻 善様に恵神疫神を招き降ろし願める  
神社では珍しい護摩木を敷く
- 2月6日 踏歌節会(旧1月13日)  
星祭  
夕刻のせせら
- 2月11日 紀元節祭  
星祭  
夕刻のせせら
- 2月23日 天長節祭
- 3月 月次祭  
阿蘇古代神楽が囀り響く
- 3月1日 卯の祭
- 3月13日 卯の祭
- 3月15日 田作祭  
阿蘇古代神楽が囀り響く
- 3月21日 横むしろ神事  
こせむかえ
- 3月21日 御前迎え  
火振り神事 夕刻  
参道にて神婚を祝う  
炎の宴
- 4月 21日 祭りあげ  
神主が耕作様を演じる
- 4月1日 月次祭
- 4月26日 風祭  
旧4月4日
- 4月29日 昭和祭  
宮地・手野・両風宮社  
作柄に書を及ぼす悪しき風を鎮める
- 5月 月次祭
- 5月1日 月次祭



田作祭 祭りあげ (3月21日)

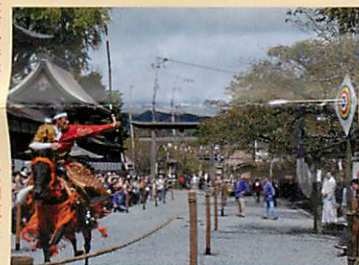


火振り神事 (3月18日)



節分祭 (2月3日)

- 6月 月次祭 厄除祭  
桃の宴で作られた  
御守が配られる
- 6月5日 雷除祭
- 6月10日 山上神社例祭  
火口鎮祭
- 6月30日 大祓式  
茅の輪神事  
夕刻 半年間の罪穢を祓う
- 7月 月次祭  
おんだまつり  
4基の神輿・白装束  
のうなり等、約200人の  
行列が練り歩く
- 7月1日 月次祭
- 7月28日 御田祭
- 8月 月次祭  
えもりながししんじ  
柄瀧流し神事  
(御田祭前)
- 8月1日 月次祭
- 8月6日 柄瀧流し神事  
(御田祭前)
- 8月22日 風祭(旧7月4日)  
夜の街に御田祭が響き渡る
- 9月 月次祭  
たのみさい  
参道では流鏝馬の奉納
- 9月1日 月次祭
- 9月25日 田実祭
- 10月 月次祭  
菜美祭
- 10月1日 月次祭
- 10月15日 月次祭
- 11月 月次祭  
紅葉祭
- 11月1日 月次祭
- 11月14日 紅葉祭
- 11月15日 薄紅祭(七五三)
- 11月23日 新穀感謝祭
- 12月 月次祭
- 12月1日 月次祭
- 12月12日 門守社祭
- 12月31日 除夜祭



田実祭 流鏝馬 (9月25日)



御田祭 (7月28日)



御田祭 (7月28日)



楼門(熊本地震前)

## 御祭神

社記によれば、阿蘇神社の御創立は孝霊天皇九年(紀元前二八二年)と伝えられています。お祀りしている神様は全部で十二座ですが、その中で千年の昔から歴史書にも記載されている神様が三座居られます。その神様の御名は、  
一の宮 健甕龍命(神武天皇様の孫神)  
二の宮 阿蘇都比咩命(一の宮御妃神)  
十一の宮 国造速瓶玉命(阿蘇初代の国造)  
右三座の神様は他の神様より特に重く祀られ、他の九座の神々は近親の神様です。これらの神様の御陵墓と伝えられる古墳が阿蘇神社より三キロほど離れた地点に点在しています(中道古墳群)。

## 御神徳

古い昔の事ですが、この阿蘇合は満々と水をたたえた湖でありました。阿蘇大神健甕龍命は湖を切つて落ちて美田を開き、農耕の道を教え国土の開拓に尽されました。十一世紀以降、肥後一の宮と仰がれ、肥後の国の総鎮守神として広く尊崇を受けられる様になりました。  
国土の開拓とはただ産業の振興のみならず、吾々人間生活にかかわりある交通・文化・学芸・結婚・医療・厄除等、生活守護の神として限らない御神恩をいたたいております。

## 社殿

社殿は度々の天災で建て替えられています。現在の社殿は天保六年(一八三五)より嘉永三年(一八五〇)にかけて、三神殿と諸門が竣工しています。白木の総けやき作りで、見事な彫刻がほどこされています。  
楼門の規模は宏壮で、神社建築には珍しく二層の屋根になっていました。また両脇門は神幸門・還御門といい、平常は閉じています

が、御田祭の神幸の時のみ使用しています。これは国の重要文化財に指定されています。※平成二十六年熊本地震により被害を受け、たたいま復旧工事を進めています。

## 人生の節目を大切に

令和二年 賀寿祝  
年齢表 (数え年)

令和二年 七五三祝  
年齢表 (数え年)

還暦 61才  
昭和35年生まれ

髪置 (かみおき) 男女 3才  
平成30年生まれ

古稀 70才  
昭和26年生まれ

紐解 (ひもとき) 男女 4才  
平成29年生まれ

喜寿 77才  
昭和19年生まれ

袴着 (はかまぎ) 男子 5才  
平成28年生まれ

傘寿 80才  
昭和16年生まれ

帯直 (おびなおし) 女子 7才  
平成26年生まれ

米寿 88才  
昭和8年生まれ

令和二年 厄入 41才  
昭和55年生まれ

卒寿 90才  
昭和6年生まれ

令和二年 厄入 32才  
昭和64年平成元年生まれ

白寿 99才  
大正11年生まれ

令和二年 厄晴 42才  
昭和54年生まれ

初宮詣  
男子  
生まれ九日から31日目

女子  
厄入 32才  
昭和64年平成元年生まれ

女子  
生まれ九日から33日目

女子  
厄晴 33才  
昭和63年生まれ

## お問い合わせ

阿蘇神社社務所

〒八六九一-二六二二  
熊本県阿蘇市一の宮町宮地  
TEL(0967)2310064  
FAX(0967)2313463



# 阿蘇神社災害復旧現況図

令和2年5月～

1, 国県市補助事業対象

2, 阿蘇神社自費事業対象

拝殿・翼廊 (全壊)

昭和23年(1948)

【指定寄附金事業】

解体工事(平成28年11月)

基礎解体工事(平成30年8月)

再建工事実施中

(令和元年9月～3年6月)

【重文】一の神殿

天保11年(1840)

部分解体修理

着工:平成30年7月

完了:平成31年3月

【重文】三の神殿

天保14年(1843)

部分解体修理

着工:平成28年12月

完了:平成30年9月

【重文】二の神殿 天保13年(1842)

部分解体修理

着工:平成29年5月

完了:平成31年3月



※写真は熊本地震前の様子

齋館 昭和3年(1928)

【指定寄附金事業】

修復工事 着工:平成30年4月

完了:平成30年11月



齋館

山王社  
庚申社

仮拝殿

神徳館

参拝所

御札所

参拝出入口

工事区域

還御門

神幸門

【重文】楼門 (全壊)

嘉永3年(1850)

全解体修理

着工:平成28年11月

組立工事実施中

令和5年12月まで(予定)



※写真は熊本地震前の様子

御札所 昭和3年(1928)

部分修理(平成28年9月)

※楼門脇から移動

【重文】還御門

嘉永2年(1849)

部分解体修理

着工:平成29年5月

完了:平成30年9月



【重文】神幸門

嘉永2年(1849)

部分解体修理

着工:平成29年5月

完了:平成30年9月



## 阿蘇神社災害復旧事業 進捗状況

1, 重要文化財建造物6棟 (国・熊本県・阿蘇市の補助事業)

第1期【完了】(平成28～30年度) 一の神殿・二の神殿・三の神殿・神幸門・還御門の復旧工事、楼門の解体格納工事

第2期【実施中】(平成31～令和5年度) 楼門の復旧(組立)工事

2, 拝殿と齋館 (指定寄附金事業)

齋館修復工事【完了】(平成30年11月) / 拝殿及び翼廊再建工事【実施中】(令和3年6月まで予定)

3, 御仮屋など飛地境内の諸施設、楼門に接続する回廊の復旧【実施時期は未定】

